

## 平成21年度通常総会

2009年5月24日

通常総会において、昨年度事業報告などが承認されました。今年度も芸術、心理、社会福祉を中心に、実践と研究を通して学びを深め、広く社会に貢献していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

### 平成20年度会計報告 (単位:円)

I 経常収入の部	
1. 会費収入	168,000
2. 寄付金収入	468,900
3. 受取利息	461
経常収入合計	637,361
II 経常支出の部	
1. 事業費	
(1)障がいをもつ人を中心とした芸術活動の支援と作品の公開展示	14,516
(2)障がいをもつ人を中心とした心理教育社会福祉研究と実践	12,300
(3)障がいをもつ人を中心とした交流の促進	66,040
(4)芸術、教育、心理、福祉などに関する社会教育	298,052
(5)障がいをもつ人とその関係者のための個別相談、教育支援、生活支援	0
(6)活動に関する広報および成果の公表	109,711
(7)(1)~(6)の事業活動のための募金	0
2. 管理費	183,127
経常支出合計	683,746
経常収支	46,385
前期繰越	1,086,658
次期繰越	1,040,273

### 編集後記

6月はじめ、1泊2日で美しい緑の信州野辺山高原を訪れた。初日夕、美術館学芸員O氏のお宅におじゃました。「田中瑞木美術館展」のチラシ・ポスターの作成打ち合わせが目的である。アトリエにいらしたO氏に居間へ案内された。居間から大きなガラス引き戸の向こう、テラスの先に下草のきれいな空間が広がっている。樹木の白い肌と緑の調和がすばらしい。最愛の故奥様や米国に住むお嬢様御夫婦の写真や記念の品々、書棚から溢れんばかりの書籍に囲まれ、飾らない人柄のO氏のお話を伺う。冬の一人生活はいかばかりかと想像されるが、切り倒された木株や、鉋で割られてきれいに積まれた薪を見て、そのような作業がO氏に

もたらすもの(自然からの贈物)を思う。

大まかな下相談の翌朝、O氏は意気揚々とラフデザインを携えて美術館に現れた。あれから朝5時までの仕事の成果とのこと。大きな「ねこの原っぱ」の猫たちの視線に心がとらえられる。黒猫を抱いた画家の自画像の切り抜きがとてかわいらしい。全体にほのぼのとして優しいデザインだ。(完成版ははさみ込みのチラシをご覧ください。)

2日間、デジカメを手に野辺山周辺のさまざまなスポットへ。ソフトクリームをおいしそうに食べていた若者たちは、松原湖で開催されるフィンランドのお祭りに参加すること。皆さんしっかりポーズをとってくれた。作付けされて間もない高原野菜の明るい緑の畑の広がる先の山並み、美しい雲、牛たちなど、このお便りにO氏の成果と併せ掲載させていただいた。

今年度もまた、多くの方々から会費、ご寄付をいただいた。郵便局からのお知らせから、皆様が足を運んでくださった場所の名前を知る 横浜奈良、調布国領、板橋四、目黒自由が丘、横浜若葉台、田原、大和、三鷹駅前、調布店、燕、丸の内センタービル内、赤坂店、横須賀栗田簡易、調布金子、元八王子三、清瀬清戸、国立天神下、羽村、調布市役所前、板橋ハッピーロード、横浜山下町、分水、千葉磯辺、土気駅前、神代、豊中本町、田園調布店、調布駅前、寺泊、調布仙川、柳川、小石川五、中野五、津田沼、府中西府町、黒部、横浜美しが丘、横浜本町、練馬旭丘、行徳駅前、相模原、稲城長沼、青葉台駅前、魚津、世田谷若林三、調布くすのき、上石神井、新宿住吉、調布金子、府中車返団地内、長岡市役所前、大塚・帝京大学駅前、三鷹大沢四、京橋店、猿橋、杉並区南二、佐倉王子台、印西、深沢、放送センター内、稲城駅前、…。お一人お一人のお気持ちを想像し、いただいたつながりをありがたく思う。と同時に、大きな責務を感じる。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。(輝・愛・瑞)

特定非営利活動法人 海から海へ  
http://umi.or.jp office@umi.or.jp  
2009年6月18日 海から海へNo.21  
編集責任者 阿部公輝  
〒182-0024 東京都調布市布田1-32-5  
マートルコート調布407  
Tel 042-441-2958 Fax 042-497-4878  
発行所 〒157-0073 東京都世田谷区砧6-26-21  
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会  
定価200円  
無断転載禁止